

## 競輪場跡地の商業施設で消防訓練 11/8

「商業施設で火災想定 対応確認 秋の全校運動 従業員ら訓練」(中日新聞 11/9号)の記事を見た市民から、ウェルネス保育園の避難訓練について、質問が寄せられました。

### ●競輪場跡地商業施設内 3階から1階までの乳児の緊急避難

日本共産党は2021年6月、2022年3月・6月議会の3回一般質問で述べたことを紹介します。

★3階での乳児保育は安心して子育てできる環境ではない。★特に3階から1階まで外階段を使って乳児をどのように緊急避難させるのか。★緊急事態発生時に子どもたちの安全な避難のため、職員は的確に判断し冷静に対応するためにしっかりと訓練する必要がある。

★市は4月同保育園を認可したので、何よりも子どもたちの命を守り、安全確保のための責任がある。その立場で対応してほしい。



### ●テナント型保育所「ウェルネス保育園一宮」

★定員 0歳児12人、1歳児24人、2歳児24人 計60人  
 11/1 現在 0歳児9人、1歳児11人、2歳児6人 計26人

★職員配置 園長1人、副園長1人、主任保育士1人、  
 保育士24人(常勤12人、非常勤12人)、栄養士1人、  
 調理員2人、事務員1人

#### ★開園時間

平日7時~20時(13時間)、土曜日7時~18時(11時間)  
 日曜日8時~18時(10時間)



### ●市内の認可保育園68園 乳児室はほとんど1階 緊急時想定

公立保育園53園、私立保育園15園 計68園 ほとんど平屋か2階建て、  
 緊急避難時を想定して、乳児室はほとんど1階にあります。

### ●保育園で避難訓練をする目的

地震、豪雨、台風、火災、不審者侵入など、実際に災害が発生した時、的確に対応するために定期的な訓練(月1回)は欠かせません。

保育士における目的 ★災害発生時に冷静な判断ができること ★適切な指示を出して子どもたちを安全に避難させること ★避難時の問題点を把握すること

### ●ウェルネス保育園一宮の避難訓練実施要項 (5/26 情報公開請求で入手)

毎月実施 地震による二次災害想定、午睡中の地震発生など

11月 商業施設全体の消防訓練

12月 給食室から火災が発生した想定訓練



\*ウェルネス保育園一宮は、すでに4月から8回訓練実施してきました。職員は正規保育士だけではありません。非正規職員含め、職員同士の役割・連携の課題など、法人はどのように検証しているのか、市としても把握しているのかなど注視したい。

12月は「給食室から火災発生想定」の外階段を使っての緊急避難訓練となり、注視したい。市は、子どもたちの命を守るため取り組んでほしいと思います。



### 高齢者の福祉タクシー 10月から85歳以上に拡大

初乗り運賃が無料になる利用券が年30枚交付されるもの。これまで対象年齢が90歳以上となっていましたが、10月から85~89歳に広がりました。市から、新たに対象となった高齢者約11,000人にお知らせが届いていますが、利用券を希望される方は申請が必要です。

★申請窓口 市役所本庁舎2階、尾西庁舎窓口課、  
 木曾川庁舎総務窓口課

申請は本人でなくてもできます。窓口に行く人の本人確認ができる書類が必要(健康保険証、介護保険証など)

★問い合わせ先 高年福祉課 在宅福祉グループ ☎28-9021



<読者のみなさんへ> 次回のシャトルは休ませていただきます。

## 一宮市政を振り返る 2019年

来年一宮市では、一宮市長選挙、県知事選挙、県議会議員選挙、市議会議員選挙などが行われます。市政を見直すチャンスとなる来年に向け、シリーズで一宮市政を振り返りたいと思います。

### i-バスの便数減少、保育園民営化方針、国保税引き上げなど

市長選直後の、1月24日の一宮市地域公共交通会議には、i-バス(尾西北、木曾川・北方)コースのダイヤ変更(1日10便から9便へ減少)、1月25日の子ども子育て会議での公立保育園53園、認定こども園化や民営化の動き、1月31日の国民健康保険運営協議会での国民健康保険税の引き上げの諮問(均等割¥2,400、平等割¥1,200、所得割0.6%引き上げ)などの答申が出され、その後進められています。

### 今伊勢地域踏切の改良に向けて安全対策調査費用など計上

今伊勢地域の踏切を改良するための調査費用が2019年3月議会に計上されました。危険な石刀駅南・今伊勢駅南踏切の改善計画を策定するための調査費用と市独自で行う舗装修繕費用です。



2019年の今伊勢駅南踏切(左)と石刀駅南踏切(右)

2016年アンケートに取り組んで地域の声をつかみ、2016年12月議会でアンケート内容を紹介、2017年には地元住民が名鉄本社訪問し、懇談・要望書提出をおこないました。地元公民館の「踏切懇談会」には国会議員も参加し、県庁で

県議も参加し懇談を行うなどの取り組みが行われました。市民の皆さんと一緒に、日本共産党は「安心安全な踏切となるよう、早急な対策を市独自でもできることから取り組んでほしい。」と求めてきた成果です。

### PFI方式での共同調理場整備を進めることを決定

PFI方式とは、プライベート・ファイナンス・イニシアチブの略で、設計・建設・維持管理・運営・調理業務を対象として、民間企業の共同体(SPC・特別目的会社)業務一括契約を締結する方式のことです。本当に経費の削減になるのか?削減効果の計算は複雑で明確でなく、運営費の安さが、従業員の雇用形態や賃金が低く抑えられることにつながる懸念もあります。

従来の公共施設の整備は、市が設計・施工を直接発注し、安全検査の権限を持っていま

すが、PFI事業は直接の発注者でない市が設計や作業について直接確認できません。デメリット・リスクがあることは当局も認めています。

当局内部だけでPFI方式導入を決めるのではなく、比較検討の資料など情報公開を進めながら、議会、保護者や市民・教育関係者への十分な説明と議論をする機会を保障すべきではないでしょうか。特に、教育の一環である学校給食共同調理場整備について、設計から調理業務まで民間に委託するPFI方式で市の責任を果たせるのでしょうか?将来を担う子どもたちに安心・安全で豊かな学校給食を提供する市の責任が問われます。

### さまざまな手数料・利用料の引き上げ・新設

2019年の12月議会で、手数料条例などの一部改正がされました。手数料や使用料の引き上げや、新設されました。とくに引き上げが大きかったのが、放課後児童クラブ利用手数料で、児童一人月額3,500円→7,000円、8月は夏季加算+2,000円というものです。



### 学校事務・用務員の民間委託など



当時市が直接雇用していた臨時職員を民間委託に切り替える提案が2019年12月議会でされました。小学校42校、中学校19校に事務員が各1名、全122名勤務していました。事務員の方は、学校配当予算経理事務(物品の発注及び管理・伝票作成)、備品の発注・受領・管理、来客・電話対応など。用務員の主な業務は、給食に関すること、環境美化・整備(除草、飼育小屋、花の水やり)、清掃などを行っています。

尾西・木曾川地区の用務員は、配置されませんでした。用務員の主な業務は給食に関することで、自校方式の尾西・木曾川地区は各学校に調理員がいて、調理後は給食の準備などを行っているため、用務員を配置しないということです。

### みなさんの声をお聞かせください

たくさんの施策が行われており、すべてを取り上げることは難しいですが、市民の取り組みの成果や、私たちの暮らしに関わる問題を中心に数回のシリーズで取り上げます。

ご意見をお寄せください。



(わたなべさとし)

政治革新の道しるべ、  
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円  
日曜版●月 930円